

### 観光地の交通の円滑化

マイカーの集中的な乗り入れにより道路交通混雑、環境問題等が発生している観光地について、個別の事情に応じた交通の円滑化等の対策を検討する必要がある。

#### (提言)

主要な観光地におけるマイカーの利用状況等を調査し、マイカーの集中的な乗り入れにより交通問題が発生している観光地に関して、地方公共団体、環境関係団体、警察等との間で地域の事情に応じた適切な交通規制を含むTDM<sup>8</sup>施策について協議する仕組みを構築する。

## 2 環境との調和と安全の確保

環境との調和と安全の確保を図るため、規制の措置だけでなく、経済的措置や自主的な取り組みの促進等を含め、様々な方策をその特性を活かして組み合わせること(ポリシー・ミックス)により、以下のような取り組みを進める必要がある。

### 環境問題への対応と循環型社会の構築

ア)自動車に関し、(1)「自動車交通のグリーン化<sup>19</sup>」に掲げられた政策を推進するとともに、他の輸送機器の単体対策の強化やモーダルシフト対策、海洋汚染対策等を推進する必要がある。

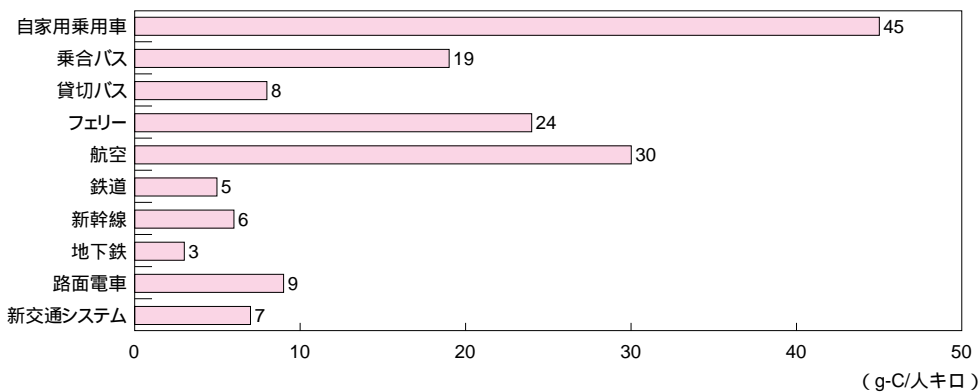
#### (提言)

環境問題に対応するため、以下の政策を推進する。

- ・スーパーエコシップ<sup>12</sup>の技術開発・実用化、海上ハイウェイネットワーク<sup>13</sup>や海のITS<sup>14</sup>の構築等を通じた「海上輸送の新生」
- ・大規模な油流出事故による海洋汚染防止のための大型油回収船等の防除資機材の整備、国際協調による事故防止体制の強化
- ・地球環境観測体制の強化
- ・船舶からの排出ガス対策、航空機及び新幹線の騒音対策

### ● 旅客輸送機関の二酸化炭素排出原単位

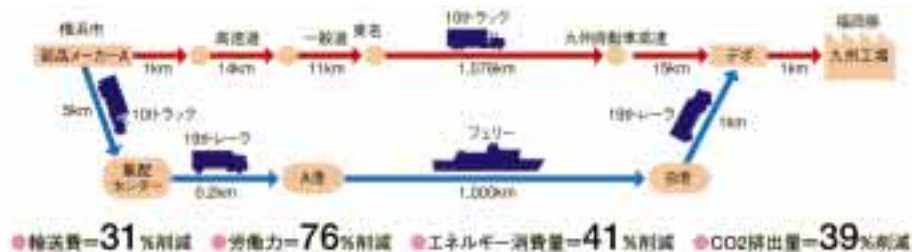
1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素の比較



(出典)地球温暖化問題への国内対策に関する関係審議会合同会議資料

### ● 複合一貫輸送体系の構築

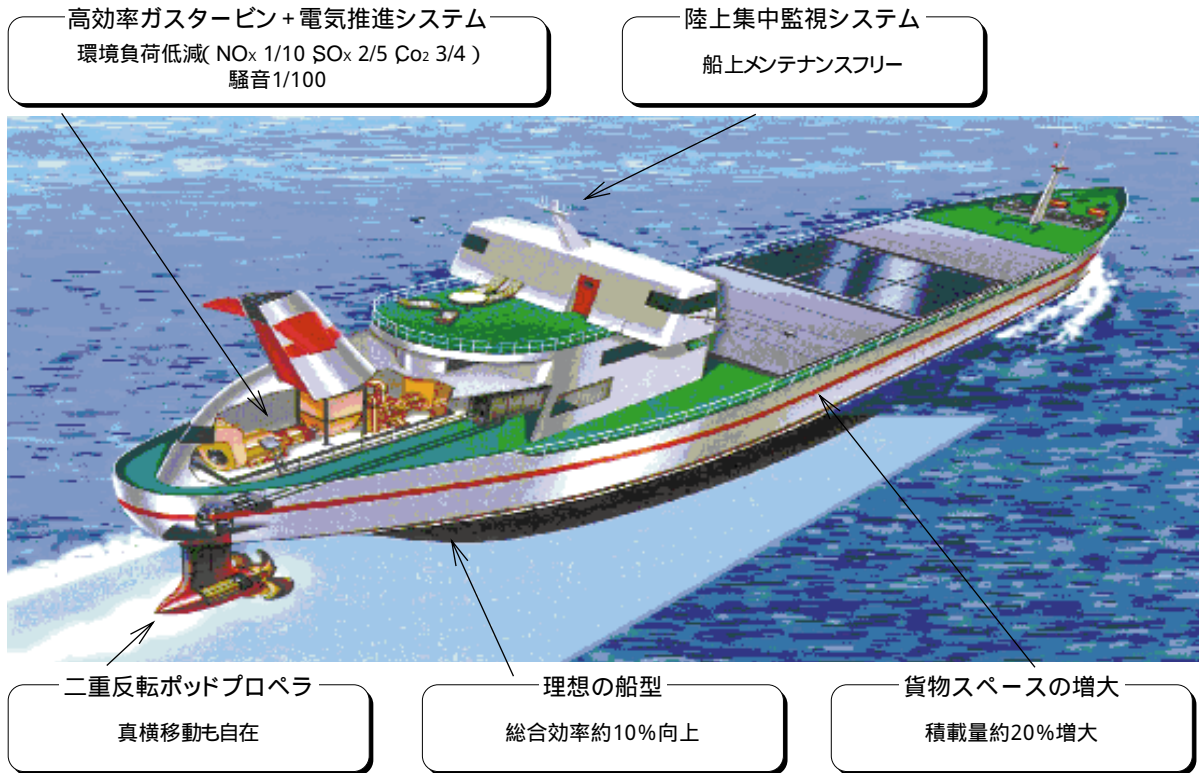
#### 効果事例



(出典)運輸省資料

## ● スーパーエコシップの技術開発・実用化

研究期間 平成13年度～平成17年度



イ)循環型社会の構築に向けて、公共事業や交通事業における廃棄物の排出抑制(リデュース)、使用済製品の再使用(リユース)、回収されたものの原材料としての利用(リサイクル)の取り組みの強化を進めるとともに、使用済みの自動車やプレジャーボートの適正処理等に関する総合的な施策を検討し、不法投棄の防止やリサイクル性の向上を図る必要がある。

また、効率的で環境への負荷の少ない静脈物流システムの構築の検討を進める必要がある。このため、従来の製造業の原材料の調達ルートに加え、リサイクル物資やリユース物資の還流ルートをいかに形成するかという点について調査検討を行うことが必要である。特に、静脈物流の波動性を考慮しつつ、ストックポイントの形成、大量輸送機関の活用方策等に関して検討を進める必要がある。

## ● FRP 廃船のリサイクル

繊維強化プラスチック( FRP )製のプレジャーボート等の廃船は数年後には年間1万隻を超えるとされており、そのリサイクルシステムの構築が課題となっています。

経済的なFRP廃船リサイクルシステムのイメージ



## ● 公共事業におけるゼロエミッション

公共事業においては、最終処分する廃棄物をゼロにすることを目指した「公共事業におけるゼロエミッション」が推進されています。

建設廃棄物のリサイクル



## 交通の安全の確保

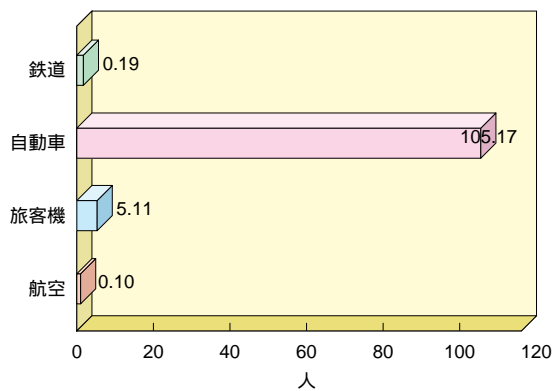
自動車に関し、(1)「自動車交通の安全性の向上」に掲げられた政策を推進するとともに、ひとたび事故が発生した場合は多数の死傷者を生じる恐れがある鉄道、海運、航空分野についても、安全性の一層の向上を図る必要がある。

### (提言)

交通の安全の確保を図るため、以下の政策を推進する。

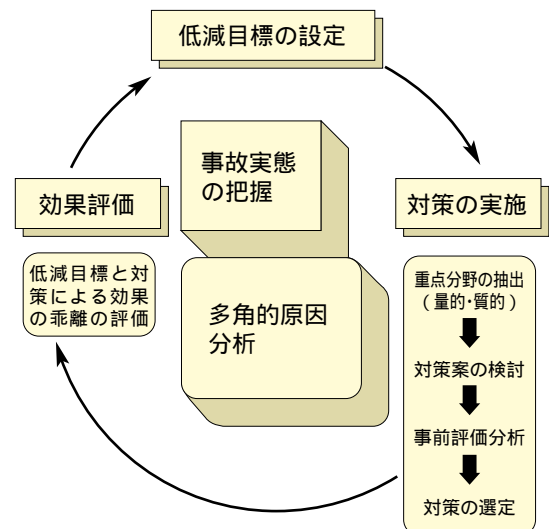
- ・公共交通の安全性に関する国民の信頼を回復するため、事故原因の分析、安全対策の徹底、対策効果の評価という安全対策サイクルの好循環化を図るとともに防犯対策を進める。
- ・船舶等の輸送機器のインテリジェント化(知能化)による事故防止性能の強化や次世代航空保安システム等の整備による交通管制能力の向上を図る。
- ・事故再発の防止をより重視していく観点から、事故原因の多角的な調査・分析のための体制の強化を図る。特に、航空事故及び鉄道事故の原因究明やそれを踏まえた安全対策の提言体制を充実・強化するため、科学的かつ公正に事故調査を実施するとともに、重大インシデント<sup>24</sup>についても調査を行う常設・専門の組織の整備を進め、事故の再発防止を推進する。

## ● 百万人キロ当たり交通事故死傷者数(平成10年度)



(注)旅客船にはプレジャーボートを含む。  
 (出典)運輸省「平成11年版陸運統計要覧」、  
 総務庁「平成11年版交通安全白書」より作成

## ● 安全対策サイクルの好循環化



## ● 次世代航空保安システム

### 低高度における安全性の向上

地形的理由等から電波が遮蔽されていた低高度空域等において航空機への支援体制が充実し、安全性が飛躍的にアップします。

